

どの子どもも輝き
笑顔いっぱい
とねがわ幼稚園

よい頭・よい躰・強い体

とね幼だより



まぶしい光の中での運動会

園長 笛木 哲

今年の運動会は、天候を気にせずに実施することができました。子ども達は、たくさんのご来賓、ご家族が見守る大舞台にも動じることなく、一人一人が主人公となって輝きました。本気で練習に取り組み、本番で力を発揮できる子ども達。子どもの力を信じ、引き出すために力の限りを尽くした教職員。そして、子ども達の遊戯や競技を温かく見守り、たくさん褒めてくださった保護者の皆様がいたからこそ、また一つ子ども達は大きく成長しました。

★運動会までの慌ただしい日々の中で気づかなかったことです。運動会后、年少の担任が驚いたことがあります。「自分で着替え、きちんと畳んでロッカーに入れていました。」と。年中の担任が報告してくれました。「三角座りがとても上手になっています。」と。年長の担任から聞きました。「友達への優しい気持ちが言葉になって出てきています。」と。

運動会に至るまでに、多くのドラマがありました。プレッシャーや不安から、涙を流して登園する子がいました。去年は皆と一緒にできなかった子が、声かけ、まとめ役として活躍する姿がありました。手加減を知らぬ真剣勝負の中でたくさんの悔しさと喜びに出会いました。そんな日々の中で、子ども達は自信を深め、クラスの絆を深めました。

子ども達の心には、運動会が単なる思い出としてだけではなく、自分が成長した証として刻まれたと信じます。そして、保護者の皆様、おじいさん・おばあさんに子ども達の「元気」をお届けすることができたとしたら、私達にとって最高の運動会でした。最後までのご声援ありがとうございました。

★残暑が続いた運動会練習の最中。年中さんの一言。「(熱くて)焼き肉になっちゃう。」と。

比べない 息子は息子

朝日新聞 2000/1/17「My ナビゲーション」から抜粋

草加市に住む千葉智子さんへのインタビュー 長男の修さんは逆子で生まれ、脳に障害をもつ何が幸せだろうって夫と話すの。私たちは得をしているかもしれないねって。子どもに障害がなくても、結局、親はみんな悩んでいる。修が生まれた時、医者「長く生きられない」と言った。脳性麻痺だった。よだれをたらす。膝で歩く。しゃべると「あーうー」。だから他の子どもと比べるという発想はなかった。みんなと比べるから悩むのよね。「なんでうちの子は」「もっとがんばれば」って。私は『うちの子基準』だから。

最初は医者の言いなり。こうやったらしゃべれるんじゃないか、歩けるんじゃないかって、生後2ヶ月から10歳までリハビリに追われて、私も修も疲れ果てちゃって。ふと思ったの。本人の意思を聞いていないなって。「修、歩きたい？」って聞いたら、腕を交差させて「×」。右手にお母さん、左手に妹がいれば歩けるってジェスチャーで示されて、目の前がパーッとひらけた。歩けた方が便利で幸せだなんて、私の勝手な思い

込みだった。あの時、聞かなかったら、死ぬまでリハビリをやらせていたかもしれない。

小さい時から、いつも外に連れ出した。私も修もジロジロ見られるのが好き。「この子しゃべれるの？」なんて子どもが聞いてきたら、「本人に聞いてみたら」って突き放す。修が、文字盤を押すと音声が出る装置を使って答えると、目がキラキラ輝いてくる。

「なんで膝で歩くの？」って聞かれて、私が「なんであなたは膝で歩かないの？」って聞き返したら真剣に考える。「修はこれが一番やりやすいのよ」って言ったら、みんな納得してくれる。私は、修より先に死にたい。私がいなきゃなんて思わない。障害はマイナスじゃない。障害のない人に、いろんなことを気づかせてくれる。修もそうやって、友達を増やしてきた。悔しいけど、私より多いの。

親ができることには限界がある。いつか修が自分の仲間達と暮らせたらいいだろうなあって思う。自立しろなんて、偉そうなことはいえない。私だって、たくさんの人に頼って生きている。でも、それでいいんじゃない。

10月は、一年間の折り返しの月です。他の子と比べるのではなく、我が子のよさをもう一度再発見してみませんか。ありのままに。そうすれば、もっと愛おしい我が子の姿を見つけることができることでしょう。世界にたった一人の最高の存在を♥

園児が輝く時 ※毎日、HP「園長ブログ」で「その日の写真」を掲載しています。よろしかったらご覧ください。



もも組で1ヶ月生活(3歳児)

エプロンを畳んであげる等面倒を見てくれたお兄さん。「今、自分でロッカーにしまえたよ。」とそっと先生に伝えてくれました。



第2回親の学習

木村貴世先生をお招きし「みんなで子育てトーク」～ママの笑顔は宝物～を行いました。パパの子育てスイッチの合い言葉は「す・な・お」です(o)



ぬいぐるみ

子どもはぬいぐるみが大好き。男の子も女の子も、親が自分にしてもらえるようにぬいぐるみを優しく抱きしめます。



10/1 ちゅうりっぷ組スタート
10名が3日には「体操」「給食」も経験しました。ひよこ組から入園した子が多いため幼稚園生活に慣れていきます。



運動会は結果としての姿
運動会では立派な子どもの姿がありました。子どもに自信をつけたのは、真剣な練習にありました。日頃が一番大切です。



よい姿勢(挨拶・返事・靴そろえ)
一つのことを徹底できれば、他のことにも波及します。「背骨を伸ばす姿勢」を当たり前のように実践する子が増えてきました。

★ちゅうりっぷ組(満3歳児)は、10月からプール前(さくらんぼ教室)が教室になります。また、朝さくらんぼは多目的室、ちゅうりっぷ組降園後のさくらんぼはこれまで通りの教室となります。